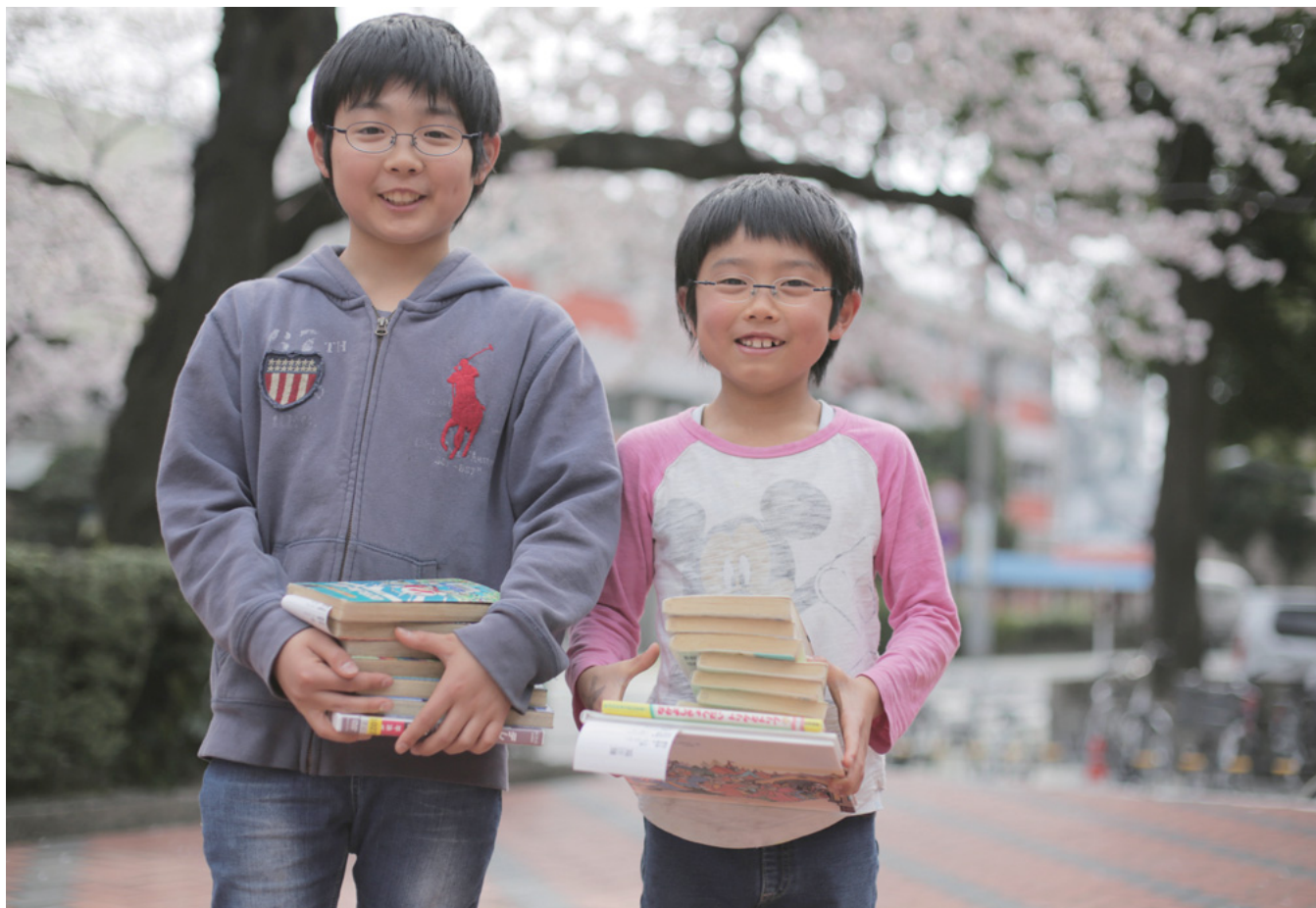


ことしで開館100周年

市立図書館は、大正5年（1916年）現在の日本銀行前橋支店（曲輪町、現在の大手町二丁目）の位置に開館。4月1日で満100歳を迎えました。

市立図書館 ☎027-224-4311

前橋市立図書館は いつもあなたのそばに



ハイカラ文化の発信地誕生

開館当時の建物は、洋風2階建てのモダンな建築で、新しい時代への息吹を感じさせる文化の殿堂でした。

当初の蔵書は3,152冊、職員は5人でスタート。開館初日は、104人が利用し、特に児童室は小学生が多く来館して終日読書を楽しんだと当時の日誌は伝えてあります。

また、この日図書館を利用した市民が5円を寄付するなど、市民待望の図書館の誕生でした。

ネットワークでつながる

昭和43年には地区公民館に図書停本所を設置して、地域住民の読書環境整備に努めてきました。その後、昭和59年4月の上川淵公民館を最初に公民館図書室として発展。平成5年度には市立図書館とコンピュータネットワークで結ばれました。

平成22年に公民館図書室を分館に変更。現在では市立図書館・子ども図書館を含めて17館の図書館ネットワークになっています。

教育や文化の拠点・図書館

図書館では、本の貸し出し以外にさまざまなことに取り組んでいます。

- ①企画展示）本に関わる展示
- ②ふれあい図書館まつり）文化講演会、除籍本の無料配布
- ③子ども読書週間や夏休みの行事）本に親しむ取り組みや図書館の職場体験
- ④おはなしの会など）ボランティアの読み聞かせ
- ⑤在宅障害者などへの配本サービス）1人で図書館に行けない障害者などに、資料を自宅まで無料で配達・回収
- ⑥ブックスタート）0歳児に絵本を無料配布
- ⑦郷土資料の収集・公開）郷土の歴史的な資料や郷土人の著作の収集・公開。

より身近な学習の場へ

市民に親しまれる図書館を目指すため次のことに取り組みます。

- ①市民の学習要望に応える幅広い資料の収集・提供
- ②17館を結んだ、どこでも借りられ、返せるネットワークサービスの実施
- ③情報発信や必要な情報を提供する体制を充実し、人が学び合う場やボランティア活動の場を提供。

図書館の主な出来事

- 大正5年4月1日 図書館開館
- 大正6年3月9日 萩原朔太郎が自署の詩集「月に吠える」を寄贈
- 昭和3年11月1日 旧前橋藩主松平家から旧藩史料寄託（昭和34年譲渡）
- 昭和31年9月29日 第2次館舎に移転
- 昭和32年7月1日 自動車文庫での巡回貸し出しを開始
- 昭和49年5月15日 現在の図書館に移転
- 昭和50年5月1日 「野間文庫」を設置（以後、寄贈などで「小曾根文庫」、「高橋金吉文庫」などを設置）
- 昭和58年10月28日 「萩原朔太郎郷土詩集」を発行
- 平成6年3月31日 「前橋藩松平家記録」第1・2巻刊行（第40巻まで発行）
- 平成10年8月1日 高崎市立図書館との相互利用開始
- 平成13年1月 前橋祇園祭礼絵巻（宝暦）修復完了
- 平成14年3月14日 在宅障害者などへの配本サービス開始
- 平成14年6月5日 中・高生ボランティアグループ「図書館フレンズ」活動開始
- 平成18年1月 友好都市のオルビエート市・バーミンガム市・メナーシャ市へ本を寄贈
- 平成19年12月8日 前橋子ども図書館開館
- 平成26年11月5日 国立国会図書館デジタル化資料閲覧サービス開始
- 平成28年4月1日 開館100周年



初代の図書館館舎



内装もモダンな館内

開館100周年記念

司修装丁画コレクション展

日時 = 5月3日(火)～7月3日(日)、午前10時～午後5時（月曜、5月25日(水)～31日(火)を除く）

内容 = 本市出身の画家・司修さんの装丁画約70点を展示



100周年記念イベントも

約3,000冊から始まった蔵書数も今は17館合わせて約100万冊となり、皆さんに親しまれる図書館に成長しました。これまでも、これからも、図書館はいつもあなたのそばに。

5月からは開館100周年を記念しイベントを実施。こども図書館や各分館でもイベントを開催します。詳しくは市立図書館ホームページ（<https://www.tosyokan.city.maebashi.gunma.jp/>）をご覧ください。